

報道関係者各位

2008年7月3日

シーメンスメディカルソリューションズ・  
ダイアグノスティクス株式会社

## シーメンスメディカルソリューションズ・ダイアグノスティクス、 総合血液学検査装置の新機種アドヴィア 2120i を発売

シーメンスメディカルソリューションズ・ダイアグノスティクス株式会社（本社 品川区、社長 コン・グリラキス）は、2008年6月16日、総合血液学検査装置の新機種アドヴィア 2120i を発売しました。

病院では患者サービスの向上が課題の一つであり、検査室においては機器の効率的な運用や検査の迅速性が求められています。そこで検査装置にも検査データの信頼性、スピード、効率性、省スペースが求められています。

シーメンスの血液検査装置は1958年（当時テクニコン）以来50年の歴史を持ち、世界初の血球計数自動化、全自動白血球分類、レーザー光の採用による独自の光学的測定法（H\*シリーズ）などの技術革新をリードしてきました。特に優れた白血球分類を可能としたペルオキシダーゼ染色はゴールドスタンダードとして認知されています。1997年（当時バイエル）にはアドヴィア 120 を発売し、流路（チューブ）をアクリルパネルへ集約化した画期的なUFGと、2次元血小板分析、CHr（網赤血球ヘモグロビン含量）、世界で初めて自動化に成功したCSF（脳脊髄液中の血球測定）など他社に無いパラメーターを提供してきました。

この度発売致しました新機種アドヴィア 2120i は、定評ある先進的な技術基盤を継承して信頼性の高い検査データと検査効率をご提供するとともに、更なる操作性の向上と省スペースを実現させました。これからもシーメンスは、血液検査における様々な課題に革新的なソリューションをお届けします。

### 【アドヴィア 2120i の特徴および利点】

- 日本語オンラインヘルプ搭載
- 17インチタッチスクリーンモニターの採用により95%の操作がマウスなしで可能に
- 目視ウインドウ付きオートサンプラードア
- スライドメーカー、アドヴィア オートスライドとL字型の接続で横幅設置スペース最小化を実現
- モード切替えによる脳脊髄液中の血球測定（脳脊髄液の細胞数と分類）
- 乳び、高白血球の影響を受けにくいセルラーヘモグロビン（cHgb）を測定
- レーザー2次元分析による正確な赤血球/血小板分析
- アーチファクトの影響を受けにくく、低値でも正確な血小板分析
- ペルオキシダーゼ染色、核分析による正確な白血球分類と低い鏡検率
- 機能性鉄欠乏の早期診断マーカーとして有用なCHr（網赤血球ヘモグロビン含量）

<お問い合わせ先> :

シーメンスメディカルソリューションズ・ダイアグノスティクス株式会社  
マーケティング&コーポレートコミュニケーション

川島 香織

TEL: (03) 5423-8783 FAX: (03) 5420-2420

Email: [kaori.kawashima@siemens.com](mailto:kaori.kawashima@siemens.com)

## [参考資料]

### 血液検査

貧血や白血病など、血液疾患の診断のために行われる検査で、赤血球数、白血球数、血小板数、ヘモグロビン濃度、白血球分類などを検査する検査分野の一つです。血液検査は主に血球計数・血液像分類、血液凝固・線溶などの領域があります。

### 脳脊髄液検査 (CSF : Cerebrospinal Fluid Test)

脳脊髄液（脳と脊髄内を循環し中枢神経の保護、恒常性の維持、組織液としての働きをしている）を採取して行う検査です。脳脊髄液検査の主目的は、中枢神経系の感染症、特に髄膜炎、脳炎の原因究明です。特に髄液の細胞数算定と白血球分類は、迅速な治療を必要とする各種中枢神経系感染症の鑑別診断および治療効果の判定において極めて重要な検査です。

#### ■シーメンスヘルスケアセクターについて

シーメンス AG の 3 つのセクターのひとつであるシーメンスヘルスケアセクターは、ヘルスケア産業における世界最大のサプライヤのひとつです。また、情報技術とシステム統合を含む知識工学ならびに診断・治療技術において、革新的強さを備えた医療のソリューションプロバイダでもあります。

ラボラトリー診断事業買収により、シーメンスヘルスケアは、画像診断、ラボラトリー診断、治療、ヘルスケア IT ソリューションからコンサルティング、サポートサービスまですべてを網羅する総合的サービスを提供する初めての総合医療診断企業として、予防、早期発見、診断、治療、ケアのためのヘルスケア全体のソリューションを提供しています。シーメンスヘルスケアは世界に 4 万 9000 人以上の従業員を擁し、130 以上の国で活動しています。シーメンスヘルスケアの 2007 年度(9 月 30 日終了)の売上高は 98 億 5000 万ユーロ、受注高は 102 億 7000 万ユーロ、グループ全体の利益は 13 億 2000 万ユーロでした。

#### ■シーメンスメディカルソリューションズ・ダイアグノスティクスについて

シーメンスメディカルソリューションズ・ダイアグノスティクスは、バイエル診断薬事業部とダイアグノスティック・プロダクツ・コーポレーションおよびデイド ベーリングの統合により誕生した事業体です。これにより体外診断における幅広い検査製品が一堂に揃うことになり、2007 年 11 月時点で世界最大の体外診断薬企業となりました。

このプレスリリースには、過去の出来事ではなく、将来の業績に関する見通しや情報が含まれています。「期待する」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「模索する」、「推定する」、「予定する」といった言葉やその類義語は、将来の業績に関する見通しに該当する可能性があります。こうした見通しは、当社の現時点での予測と一定の前提に基づいており、したがって、特定のリスクや不確実な要素に左右されることがあります。シーメンスの事業活動、事業戦略、業績に影響を及ぼす要素はさまざまで、その多くはシーメンスには制御不可能なものです。そのため、シーメンスグループの実際の業績、活動、成果は、こうした将来の業績に関する見通しの記述や暗示とは大きく異なる可能性があります。特定の不確実な要素には、景気や取引状況の変化、為替動向や金利の変化、他社による競合製品・技術の導入、シーメンスグループの新しい製品・サービスの不振、事業戦略の変化やその他のさまざまな要素の変化などが含まれます。一部の要素の詳細については、シーメンスが米国証券取引委員会 (SEC) に提出した資料に含まれており、シーメンスのホームページ ([www.siemens.com](http://www.siemens.com)) や SEC のホームページ ([www.sec.gov](http://www.sec.gov)) でご覧いただけます。万一、これらのリスクや不確実な要素が現実のものになれば、実際の業績は将来の業績の見通しの予想、確信、予測、期待、意図、計画、予測とは大きく異なる可能性があります。シーメンスは、将来の業績に関する見通しの作成後に発生する出来事に照らして見通しを更新、修正する意図はなく、またそうした義務を負うものではありません。